



# ひかりのご通信

2018年1月26日 ひかりのご保育園 NO.126

やえせちようあざともしり

沖縄県島尻郡八重瀬町字宮盛347番地 TEL:098-998-0138 FAX:098-998-0138

Since 2004



## 『育ちあう子どもたち』

子どもというのは、育つというよりも育ちあう存在だと言われる。自分の子どもが育つているということは、自分の子どもと一緒に、育つてくれている子どもたちがいるということである。

親が「子ども同士で育ち合う」ということを知らない、自分の子どもだけを一生懸命に教育しようとする。昔から自分の子どもはよその人に育てていただこう、親戚の人たちに育ててもらおう。そのかわり自分も、よその子どもと一緒に育てようという気持ちがあったように思う。

それがいつの間にか、勉強を学校の先生から、水泳やサッカーをスポーツクラブのコーチから、ピアノのレッスンを音楽の先生から、英会話を外人講師から、というように大人からいろいろなことを教えてもらっていけば、大丈夫だと思ってしまう。そして、家庭では親がきちんとしていけば、大丈夫だと思ってしまう。そして、家庭では親がきちんとしていける親がいらないだろうか。

確かに、知識は増えるかもしれない、スポーツやピアノの技術は伸びるかもしれない。ところが、子どもの人格の中心部分は、それだけでは育たない。知識や技術は、それだけでは人格と無関係だということも、多くの親が知らないのかもしれない。知識が豊富だと、それだけで人格者になると思っているかもしれない。ともすると、勉強ができた、ピアノや野球の能力が優れていると、『人間ができた』と思ってしまう。そうではない。運動がうまい、歌が上手だということが、それだけでは人格と関係がない。同様に、算数や国語ができて、それで人格ができたということではない。

子どもは、いろんな人との関係のなかで育ち、仲間との交流、助け合いを通して互いに育ち合う。お世話をし、お世話されるなかで、豊かに成長するのだと思う。そのようなことを思い巡らしながら、日々子どもたちと関わりたい。

愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。

愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。(ヨハネの手紙一 第四章七節)



## 1月の行事予定

4日(木)保育初め 身体測定

15日(月)・29日(月) 英語で遊ぼう

6日(土)研修会 8日(月) 成人の日(休園)

16日(火)防災訓練 24日(水)お弁当会

26日(金)うたのレッスン & お誕生会

30日(火)園児礼拝

2018年1月						
日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



# ほねがい & おじらせ

## 冬の感染症に気をつけて！！

RS ウイルス感染症(respiratory syncytial virus infection)は、RS ウイルスの感染による呼吸器の感染症です。RS ウイルスは日本を含め世界中に分布しています。何度も感染と発病を繰り返しますが、生後 1 歳までに半数以上が、2 歳までにほぼ 100%の児が RS ウイルスに少なくとも 1 度は感染するとされています。症状としては、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。ひかりのこ保育園でも、ぼんだ組～りす組(1～2 歳児)の感染が多く、中には重症化してしまう児もいましたが、登園できるほど回復した児も増えていきます。インフルエンザも流行しており、園では、

うがい・手洗いをこれまで以上に徹底して参ります。

子どもたちが毎日元気に走り回り、ご家庭、  
保育園で健康に過ごせるよう感染症対策に  
ご自宅でもご協力お願い致します。



こんげつ ほいくもくひょう

## 今月の保育目標 “愛！”

みんなで協力し助け合って、  
未知のものにチャレンジすることを味わう。(3, 4, 5歳児)  
お友だちと一緒にいることを喜ぶ。(1, 2歳児)  
身体いっぱい動かして遊ぶ。(全園児)

こんげつ あんしょうせいく

## 今月の暗唱聖句



「愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。

愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、

神を知っているからです。」

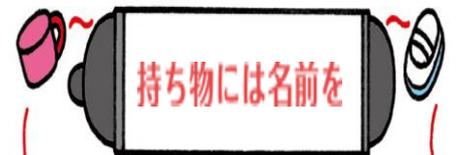
よはね てがみいち しょう せつ  
ヨハネの手紙一4章7節

くうき ひかり ともし とも あい のこ のわ  
空気と光と/そして友だちの愛/これだけ残っていたら、/弱りきってしまうな。ゲーテ





冬の寒さを肌で感じ、お弁当会以外も園外保育で屋宜原公園に出かけました。屋宜原公園は大きな遊具があり、子どもたちは寒さを忘れて思い切り楽しみました。



最近、名前のない衣類が増えています。(お下がりしてくれた方の名前が記入されています)お手数ですが、子どもたちの衣類ひとつひとつに、わかりやすく名前を書いてください。物を大切にする気持ちを育てていきましょう。

